

<ご参考1：マークの使用イメージ>

■ 車両イメージ



お客さま、地域に根差す集配車両には、引き続き、ネコマークを展開します。社会を見つめる“ネコの目”をあしらい、より親しみやすいデザインを目指しました。ビジネス領域や幹線で使用する大型車両には、宅急便に留まらないネットワークの多機能化、高付加価値化のシンボルとして、「アドバンスマーク」を採用する予定です。

■ 資材イメージ



※各アイテムのデザインは、一部変更する場合がございます。
また、デザインは車両切り替え時など合わせ、順次、導入していきます。

<ご参考2：デザイナープロフィール>

原 研哉 | Kenya HARA

デザイナー

株式会社日本デザインセンター 代表取締役社長／武蔵野美術大学教授

無印良品のアートディレクションや、蔦屋書店、GSIX、森ビル、ミキモトなど、日本を代表する企業・サービスブランドのアイデンティフィケーションを手がける。2017年にロンドン、ロサンゼルス、サンパウロに開設された、外務省「JAPAN HOUSE」では総合プロデューサーを務め、日本を未来資源とする活動に注力しはじめている。